

地域教育懇談会だより

郡山市教育委員会
令和2年2月10日(月)

清水台地区「地域教育懇談会」を開催しました

清水台地区「地域教育懇談会」を2月4日(火)午後6時30分から清水台地域公民館で開催しました。金透小学校、芳山小学校、郡山第二中学校、地区内の幼稚園の保護者や教職員、地域の皆様など、約70名の参加がありました。

前半は、小野義明教育長のあいさつに続き、教育委員会事務局職員が、本市の教育施策について説明しました。

後半は各小中学校PTAの皆様の司会のもと、学校・地域・教育委員会による熱心なグループ協議が行われました。

グループ協議

各課、各センターにおける教育施策の説明

学校教育推進課

小中一貫教育の推進、授業の改善と確かな学力の育成、特色ある教育活動の推進、地域との連携等

学校管理課

体力向上推進構想による取組、学校給食・食育の充実、体育指導者研修・学校体育大会の充実、働き方改革、コミュニティ・スクール等

教育研修センター

専門性の向上と今日的な課題への対応に向けた教員研修の推進、ICT教育の充実、情報モラル教育の充実等

総合教育支援センター

学校不適応児童生徒への個別対応、スクールカウンセラーの配置、インクルーシブ教育システムの充実等

後半のグループ協議では、地区内の小中学校を代表して、郡山第二中学校から現在の学校における課題をお話していただいた後、3つのグループに分かれ、様々な立場、視点による活発な意見交換が行われました。

地区内小・中学校による話題提供

【小中学校代表 郡山第二中学校 菊地校長先生】

- スマートフォンや通信機能を有しているゲーム機等の情報機器と上手に向き合うためにはどのような注意と工夫が必要か。
- 登下校をはじめ、地域内における児童生徒の安全・安心の確保のためには、どのような連携と工夫が必要か。
- 地域人材の更なる有効活用のためには、どのような体制づくりと工夫が必要か。



地域の皆様から御意見をたくさんいただきました！

<スマートフォン・ゲーム>

- ・多くの子供たちがスマホやタブレットを持っている。長時間使用、課金、SNSによる友達とのトラブルなどの問題も起きている。
- ・スマホやタブレットの便利さと怖さの両方を、学校でも、家庭でもしっかり教えていく必要がある。
- ・フィルタリング機能を使っていない家庭が多く、呼びかけが必要。
- ・親子で話し合うこと、ルール作りを行うことを呼びかけていきたい。

<安全・安心の確保>

- ・シケインや狭さくなどの安全対策は有効である。ただし、設置には地域の協力が必要である。
- ・大人と子供で、一緒に通学路を点検してはどうか。
- ・自転車事故が心配。乗り方のマナーを、大人も子供も守りたい。
- ・不審者情報が多い場所について、情報を共有したい。
- ・虐待には通告義務ができたことを大人が認識すること、虐待を受けた子供の心のケアが大切である。

<地域人材の有効活用>

- ・地域の方には、学校での活動にいつも協力をいただいております。
- ・子供たちも含め、地域に顔が見える人間関係を作ることが大切である。
- ・新しい先生でもすぐに活用できるようなデータベースの整備を行いたい。
- ・プログラミング教育に向け、情報処理の経験がある人材を活用したい。
- ・公民館イベントへの参加者を増やしたい。情報発信の仕方や呼びかけの仕方を工夫したい。

➡ グループ協議では、建設的な御意見をたくさんいただくことができました。今回の地域教育懇談会がきっかけとなり、学校・家庭・地域の連携がますます図られ、課題の解決につながりますよう、今後も御協力をよろしくお願いいたします。